



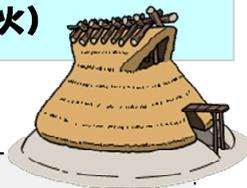
蒲原生涯学習交流館

出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月1日(火)



「勾玉の歴史や意味を説明していただき、
古代への思いを馳せることができました。」

蒲原生涯学習交流館の夏休み子ども向け事業の一つとして、勾玉の歴史を通して古代人の暮らしについて知り、地域にある発掘された遺跡や史跡へ興味をもつきっかけとする目的で、勾玉作り体験を行いました。

勾玉作り体験



大昔の人は、硬い石を根気強く磨いたり、穴を開けたりして、勾玉を作っていたことを学びました。また、勾玉の形は日本独特のものであることも知ることができました。

「先生が優しく教えてくれたので、とても楽しかったです。」



紐の色を3色の中から選びました。

「勾玉のことが最初分からなかったけど、作り方やキズを残さないようにする方法などがわかりました。」



「教え方が上手なので楽しくやりやすかったです。」

第1段階の粗い紙やすりで大まかな形を削り、第2段階の紙やすりでキズを取り、第3段階で水をつけた紙やすりで表面をつるつるにしました。



蛍光ペンで好きな色を着けて出来上がりました。付き添いのお母さんも出来上がりに満足です。

「縄文時代～古墳時代まで作っていた人の気持ちが分かりました。」



先生方の感想

「勾玉の歴史や意味を説明していただき、古代への思いを馳せることができました。勾玉作りは、講師の方の的確な助言のおかげで、受講生自身で仕上げることができ、達成感を味わうことができました。勾玉の作り方の説明を口頭だけでなく、DVDを使用して何度も再生していただけたので、作業を進めやすかったです。講師の方は、優しく丁寧にご対応いただきました。しかも、講師の方から受講生に声をかけて注意点などをご指導いただけたので、わかりやすかったです。」

